



●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡してください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠ 注 意 …組立てを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

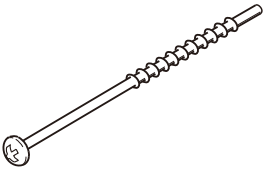
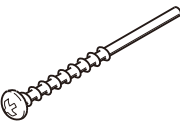
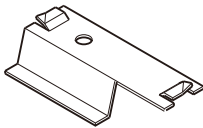
⚠ 注 意

- 漏水防止のため下記事項をお守りください。
 - ・組立て時に、コーキングシーラーが型材の周りにはみ出すように合わせてください。
 - ・組立てねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- 丁番取付けねじは、増締めをして締付けてください。締付けがゆるいと扉脱落のおそれがあります。（締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }）

■組立て上のお願い

●枠の組立ては、必ず指定の組立てねじを指定の本数使用して組み立ててください。

■使用ねじ・部品一覧表

①	㊦	㊦	㊦
			
なべタッピンねじ φ4×85	なべタッピンねじ φ4×40	下枠アンカー	プッシュボタン

■目次

■仕様判断フローチャート	P.2
■組立て概要	P.2

共通

1はじめに

■躯体内配線コードの接続についてのお願い	P.3
■親扉・子扉の判別について	P.3

2通電金具の配線接続と躯体内配線コードの接続

※仕様によって異なりますので、該当のページを参照ください。

■ FamiLock 手動開閉仕様	P.4
■ FamiLock 自動開閉仕様 電動ドアクローザ（配線露出）	P.5
■ FamiLock 自動開閉仕様 電動ドアクローザ（配線内蔵）	P.6
■顔認証システム 手動開閉仕様	P.7
■顔認証システム 自動開閉仕様 電動ドアクローザ（配線内蔵）	P.8

共通

3通電金具（枠側）の取付け	P.9
---------------	-----

共通

4配線後の処理についてのお願い	P.9
-----------------	-----

共通

5ねじの使い分けについて	P.9
--------------	-----

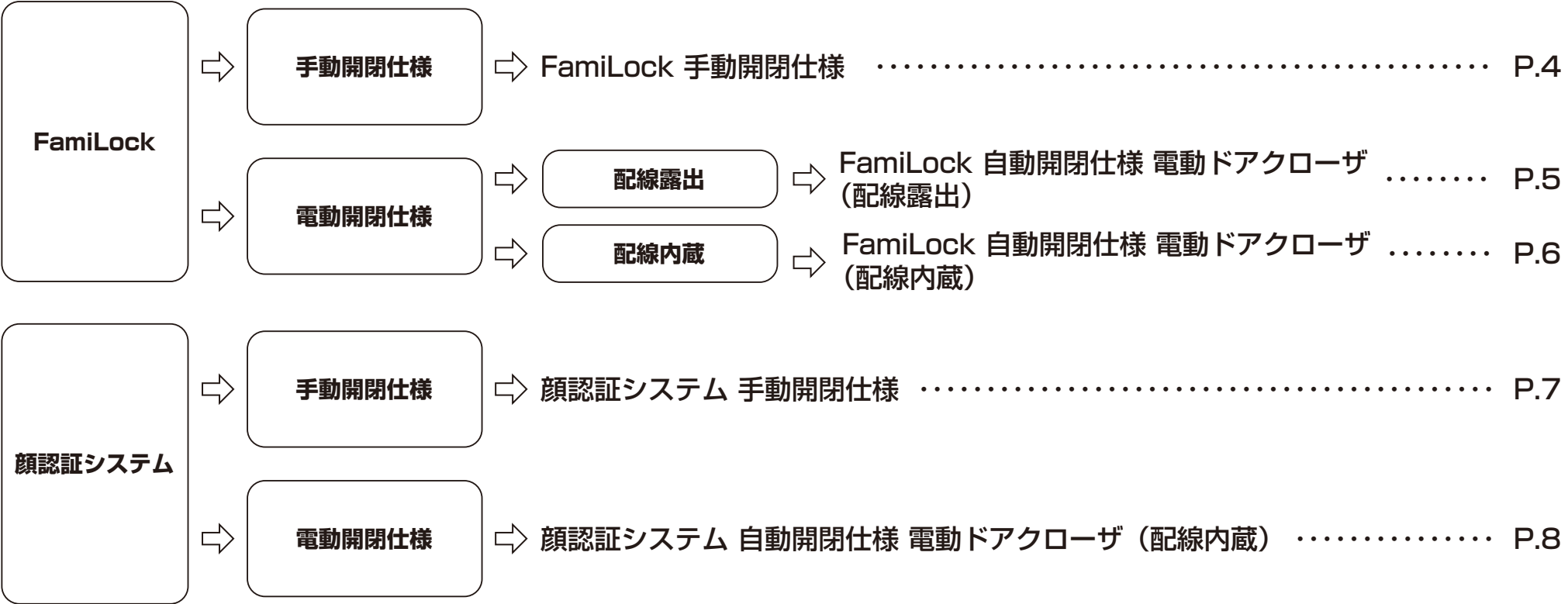
共通

6戸当たり気密材のコーナー部納まりについて	P.9
-----------------------	-----

共通

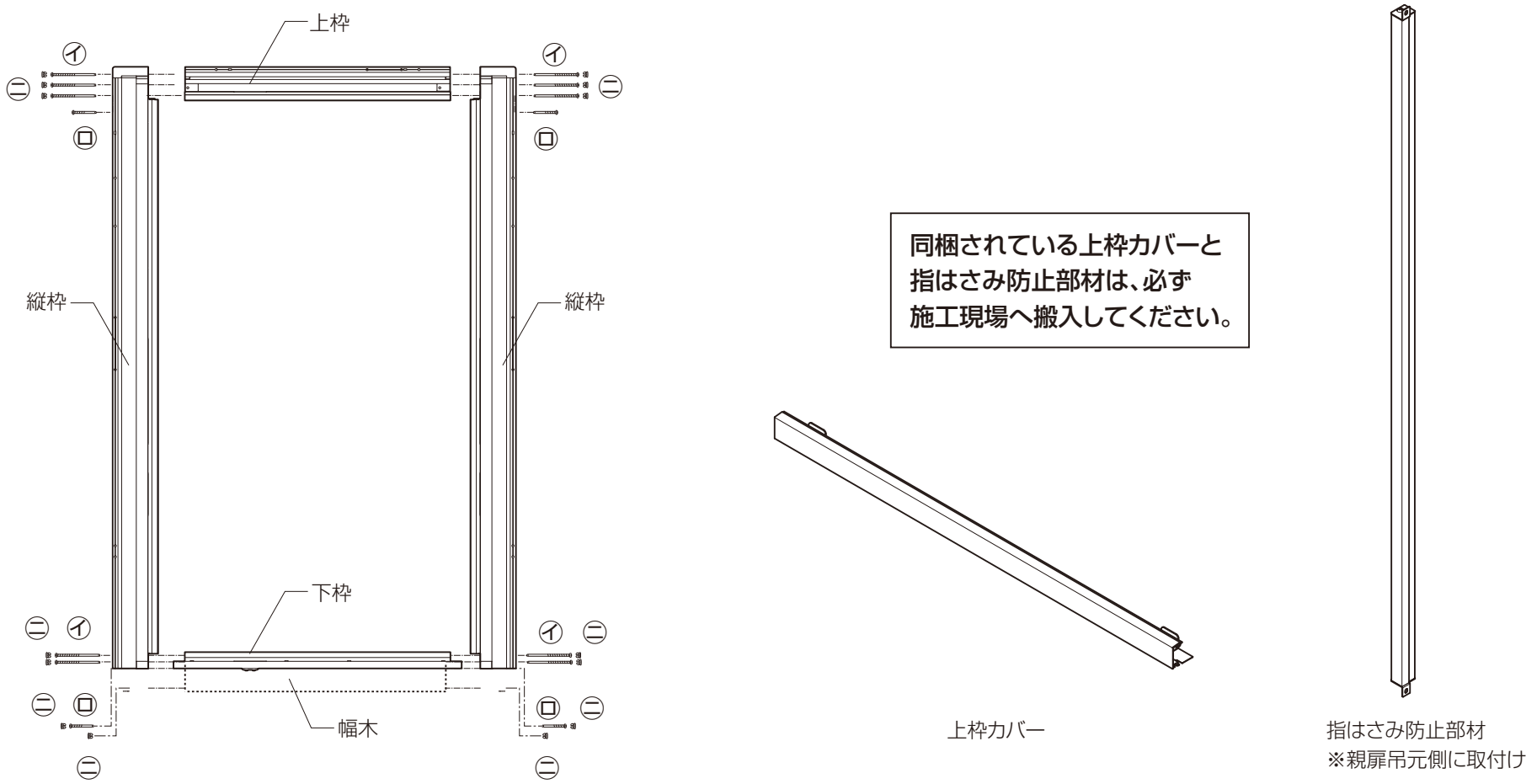
7部品の取付け	P.10
---------	------

■仕様判断フローチャート



■組立て概要

■親子

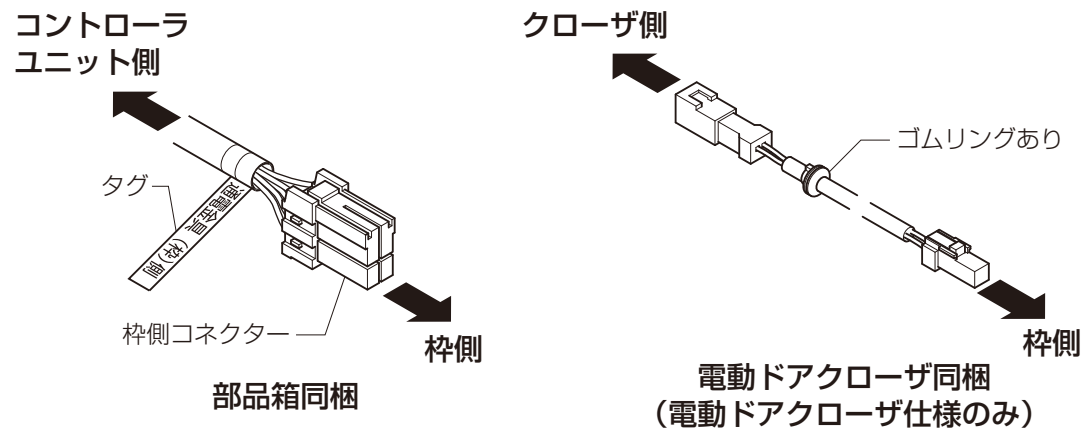


■躯体内配線コードの接続についてのお願い

※躯体内配線コードは必ず組立て前に枠内に通してください。

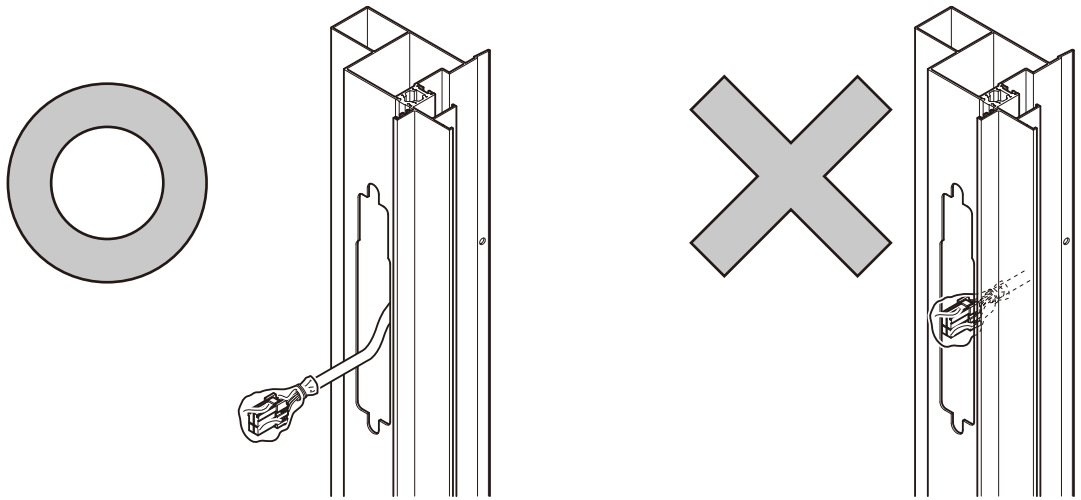
お願い

- ①躯体内配線コードは、コネクタ形状の違いにより、向きがあります。枠内に通す前に必ず、タグの表示内容とコネクタ形状を確認し、躯体内配線コードの向きがぁっていることを確認してください。



※配線は一例です。

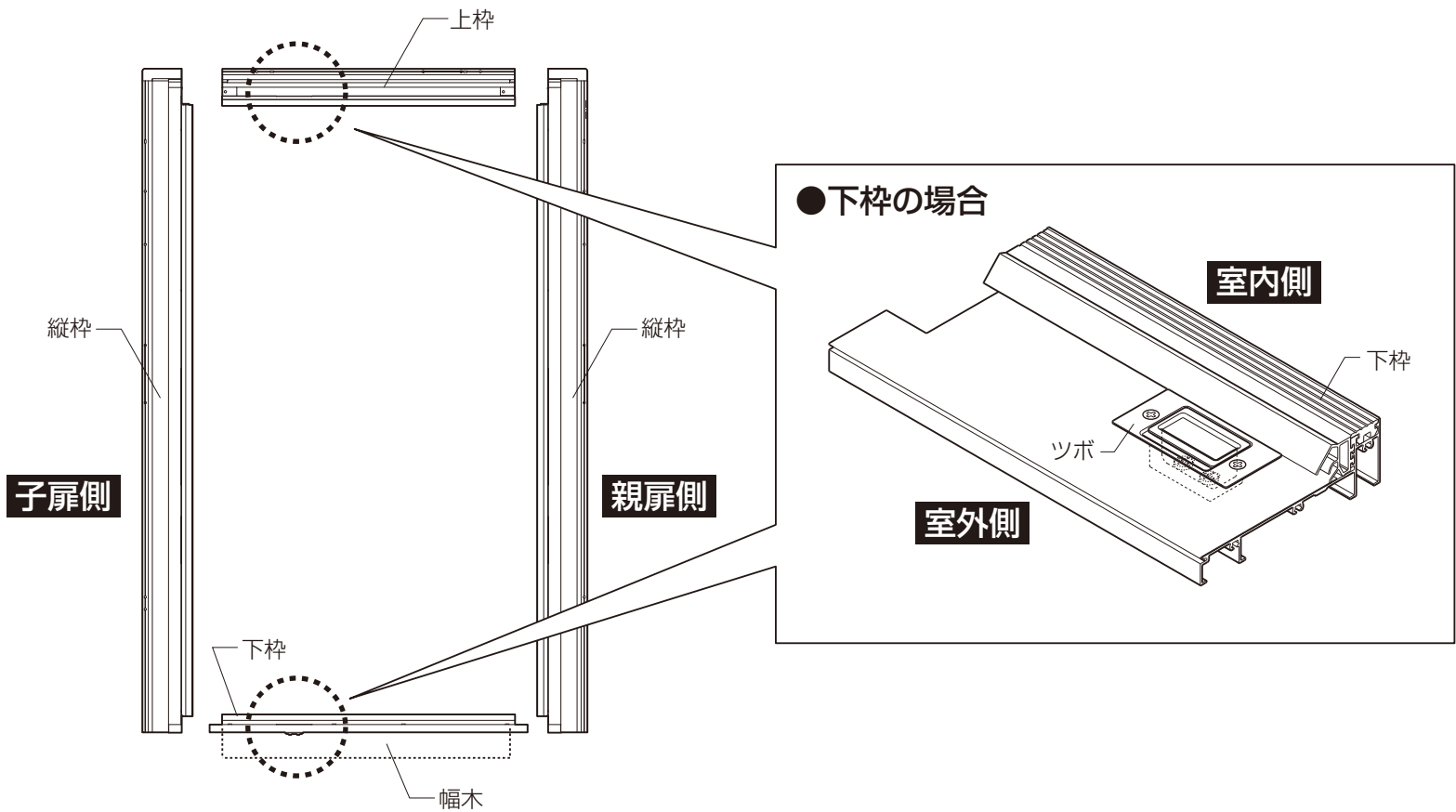
- ②躯体内配線コードの枠側コネクタは切欠き穴から確実に引き出してください。
※コネクタのビニール袋は被せた状態にしてください。通しやすくなります。



- ③躯体内配線コードを通した後は、枠にキズをつけないようにテープなどでコネクタを固定してください。
④躯体内配線コードのはさみ込みによる破損・断線などのないようにしてください。

■親扉・子扉の判別について

通電金具および躯体内配線の取付けの際、上下枠のツボの位置にて親扉・子扉を判別してください。
下図のように縦枠に対してツボが近い方が子扉側、遠い方が親扉側となっております。



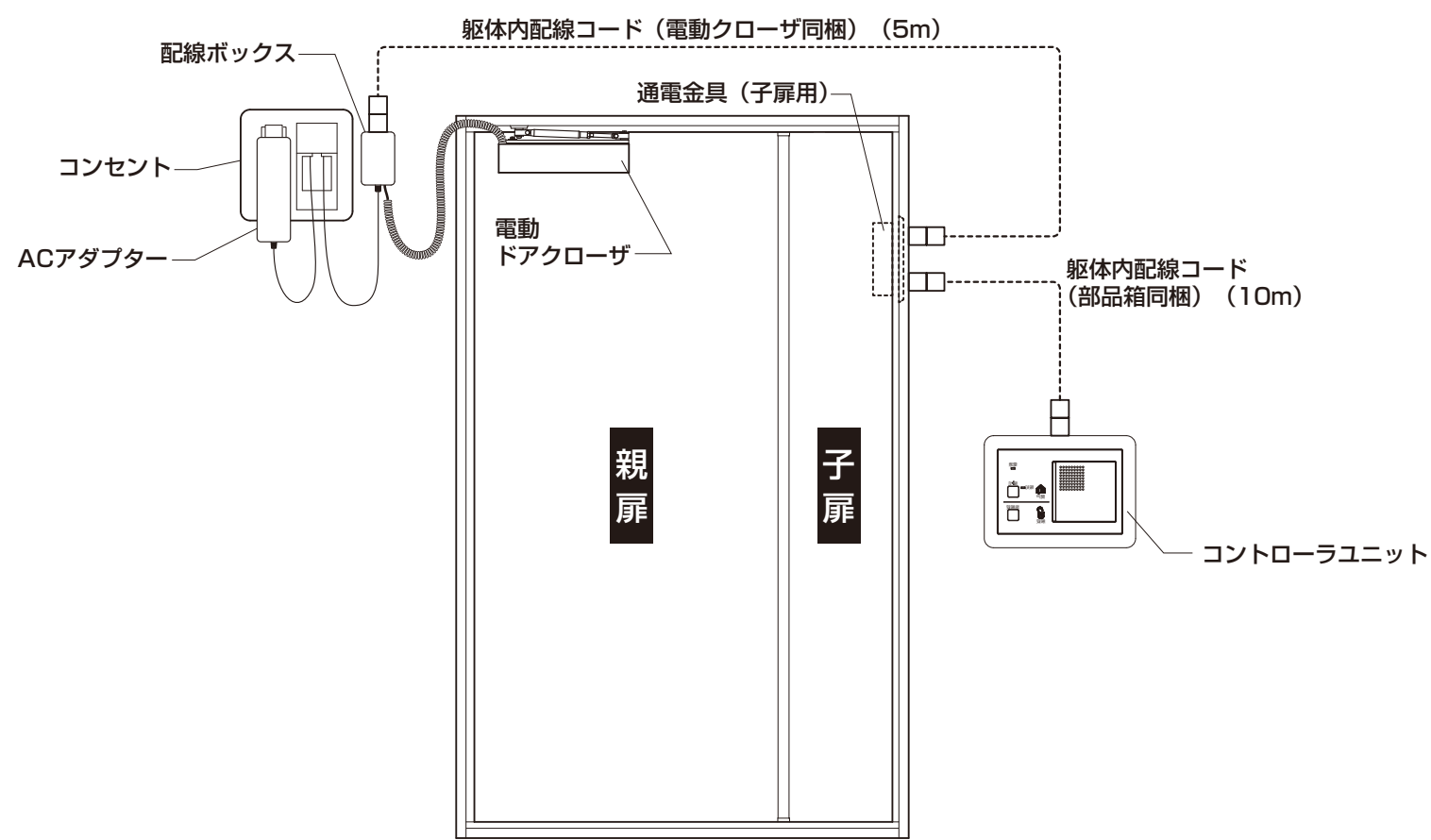
■ FamiLock 手動開閉仕様



- ②コネクタを通電金具(杵側)に接続します。
※通電金具(杵側)は部品箱に同梱されています。

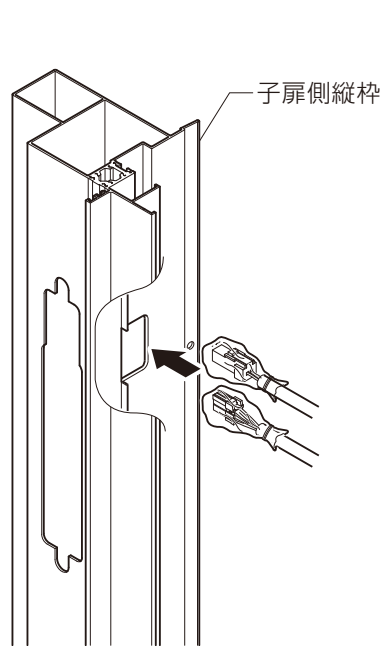


■ FamiLock 自動開閉仕様 電動ドアクローザ(配線露出)

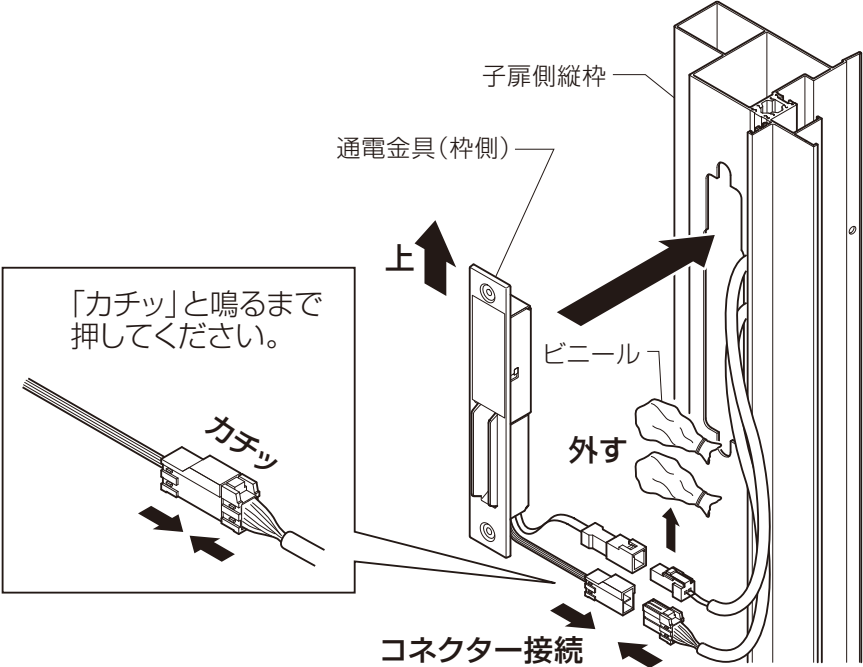


●子扉側

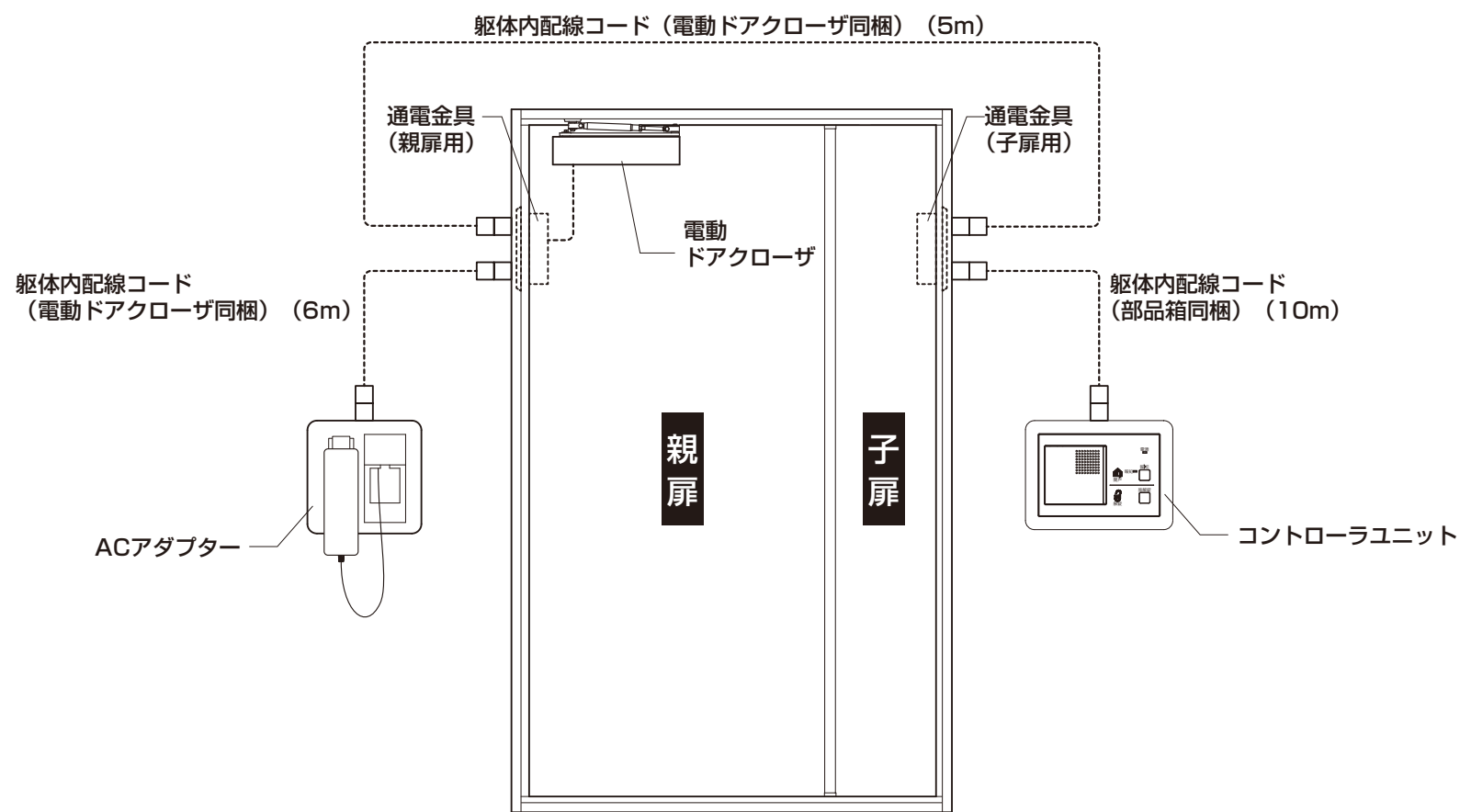
① 躯体内配線コードを子扉側縦枠に通してください。
躯体内配線コード：2本



② コネクターを通電金具(枠側)に接続します。
※通電金具(枠側)は部品箱に同梱されています。

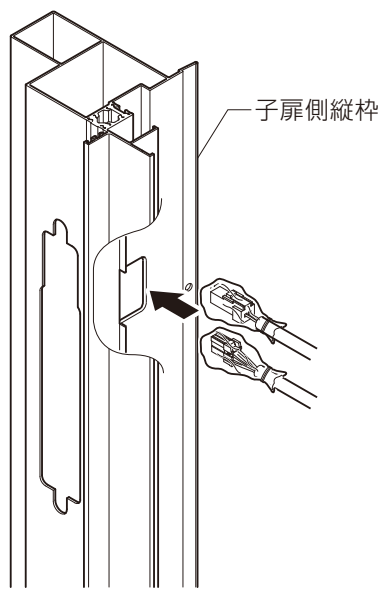


■ FamiLock 自動開閉仕様 電動ドアクローザ(配線内蔵)

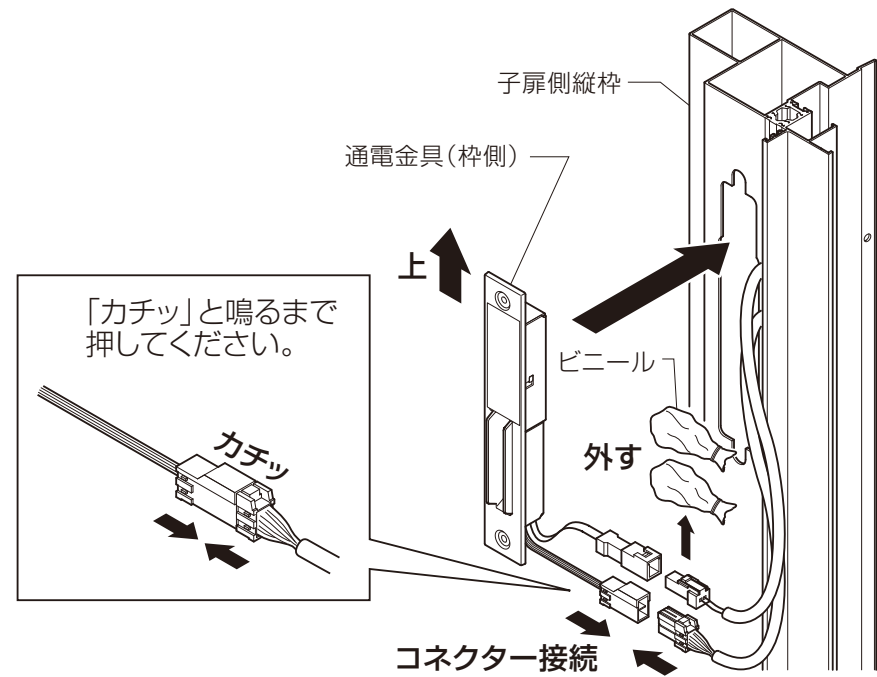


●子扉側

- ① 躯体内配線コードを子扉側縦枠に通してください。
躯体内配線コード：2本

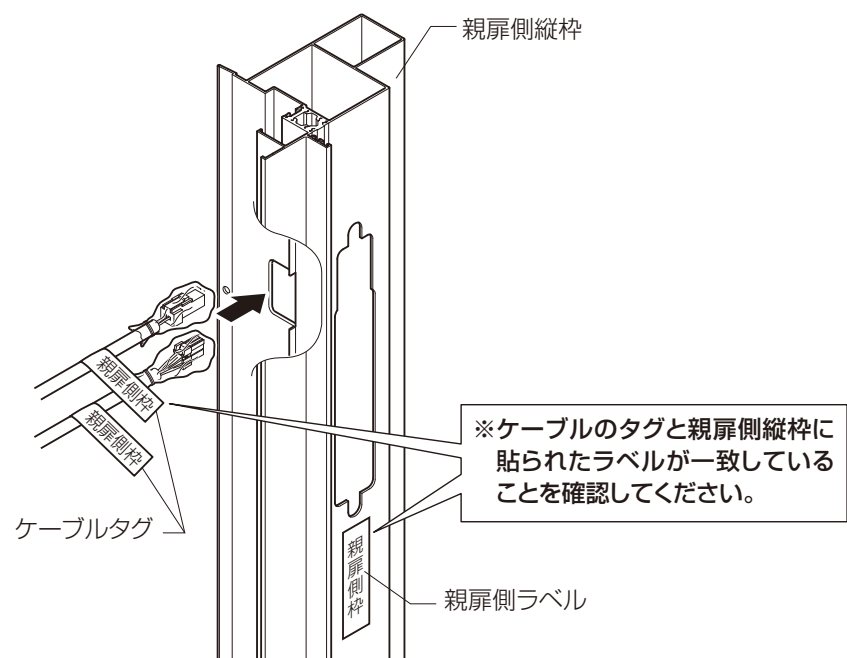


- ② コネクターを通電金具(枠側)に接続します。
※通電金具(枠側)は部品箱に同梱されています。

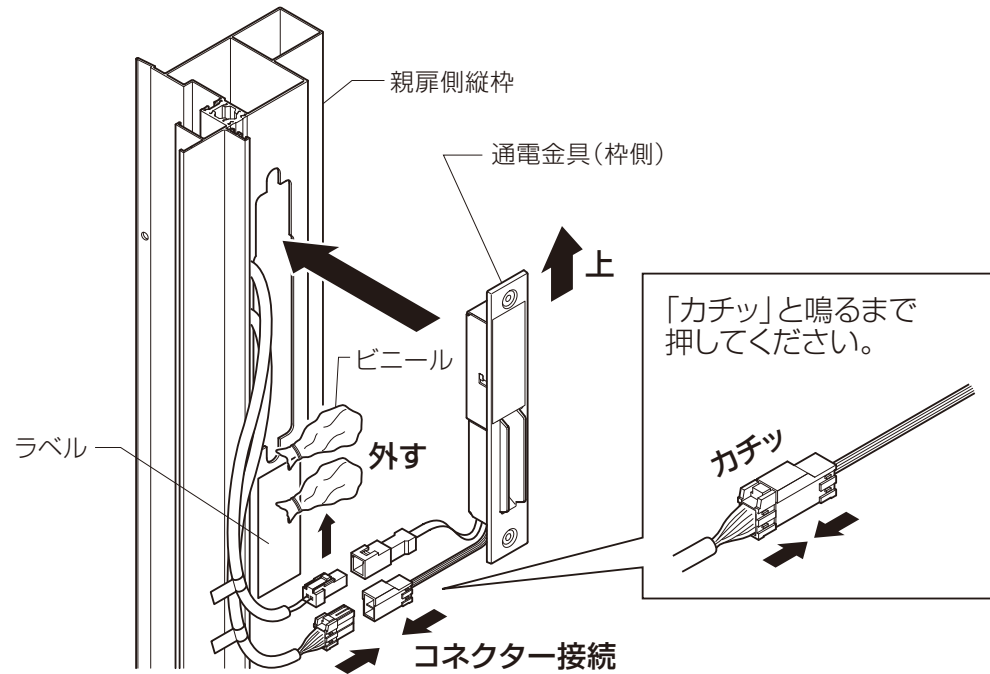


●親扉側

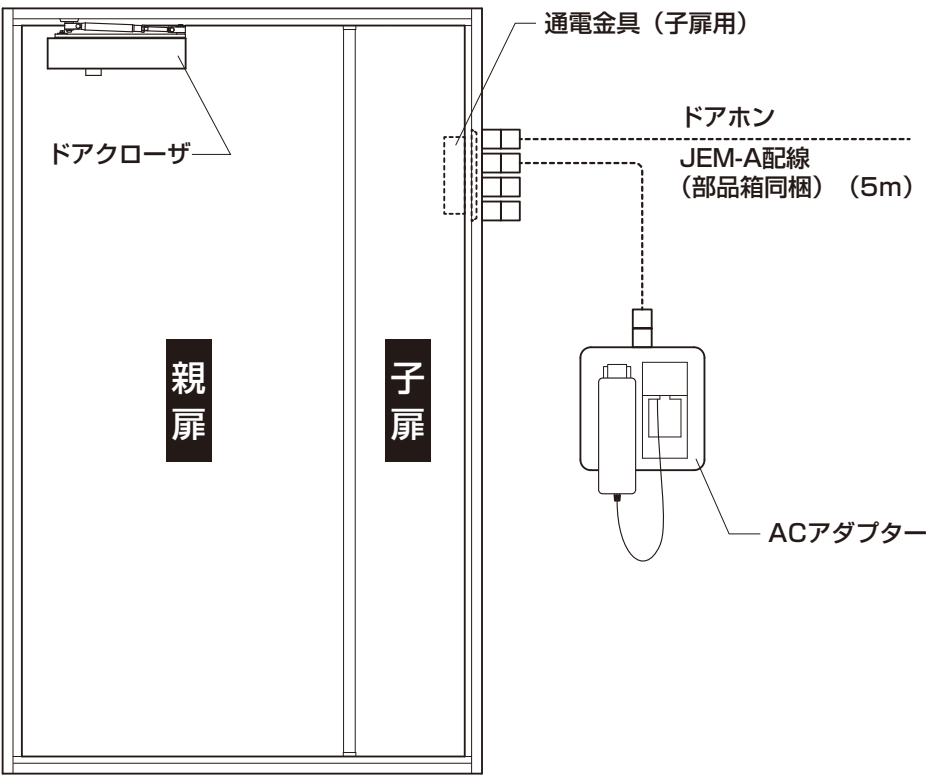
- ③ 躯体内配線コードを親扉側縦枠に通してください。
躯体内配線コード：2本



- ④ コネクターを通電金具(枠側)に接続します。
※通電金具(枠側)は部品箱に同梱されています。

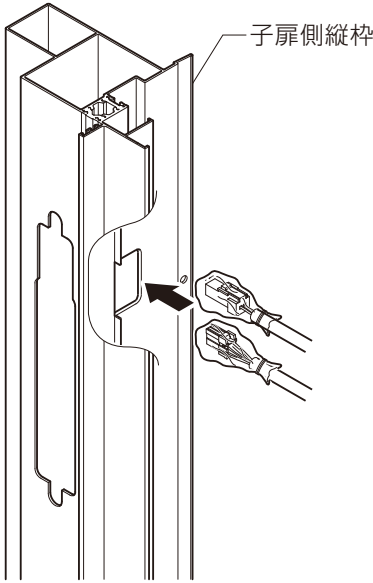


■顔認証システム 手動開閉仕様

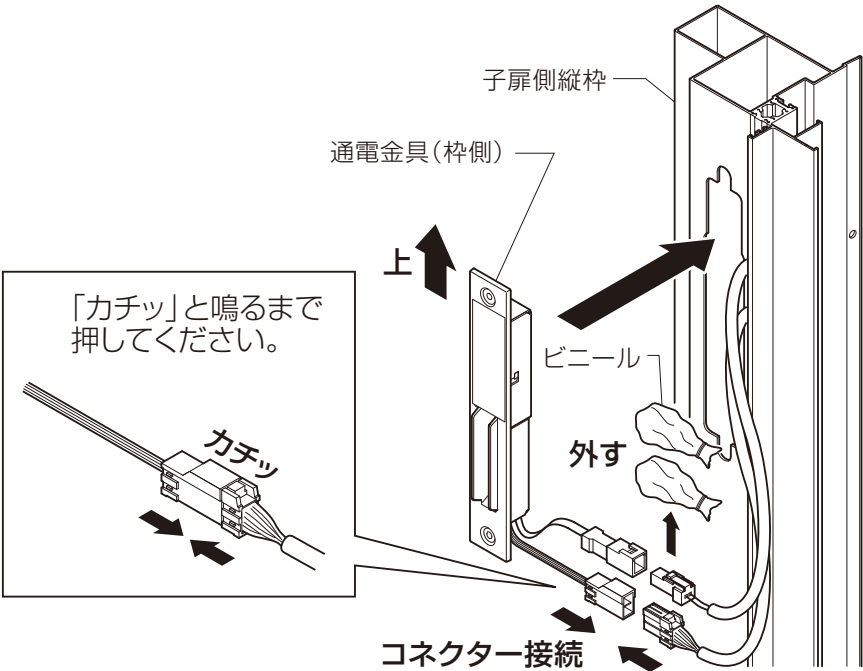


●子扉側

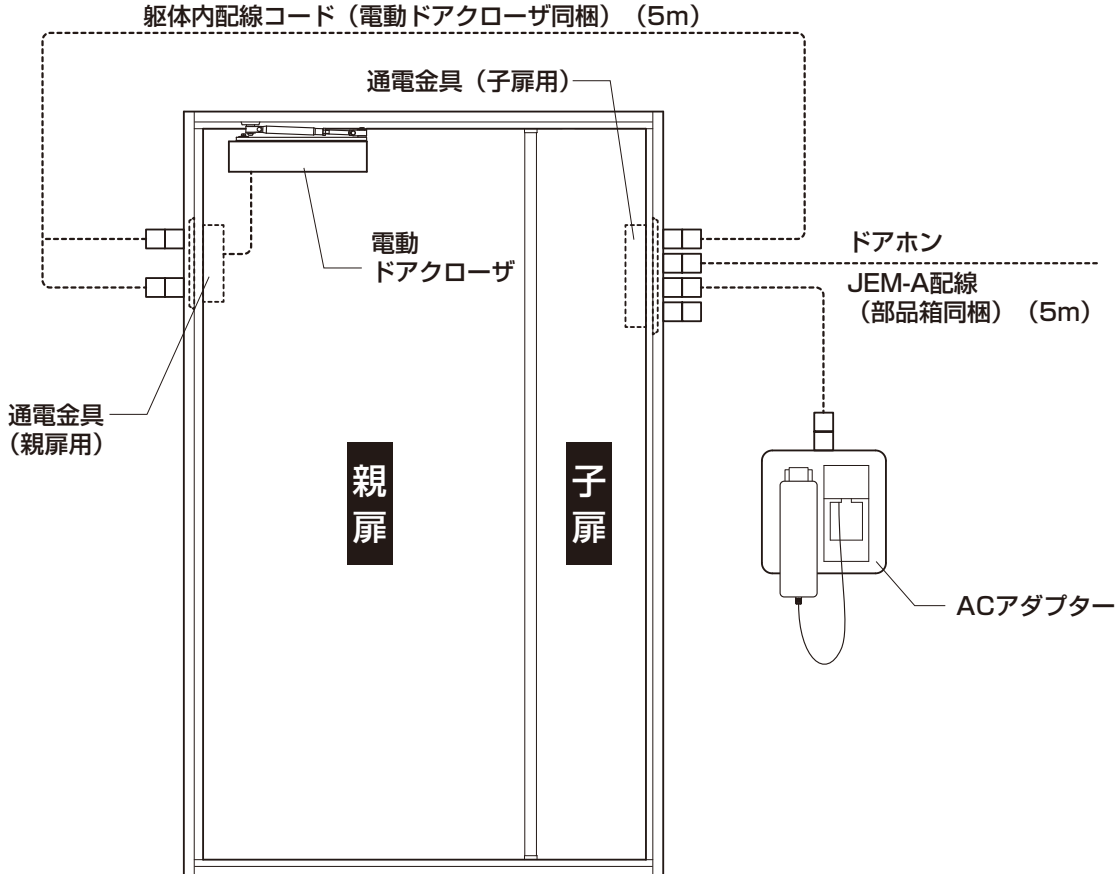
① 躯体内配線コードを子扉側縦枠に通してください。
躯体内配線コード：2本



② コネクターを通電金具(枠側)に接続します。
※通電金具(枠側)は部品箱に同梱されています。



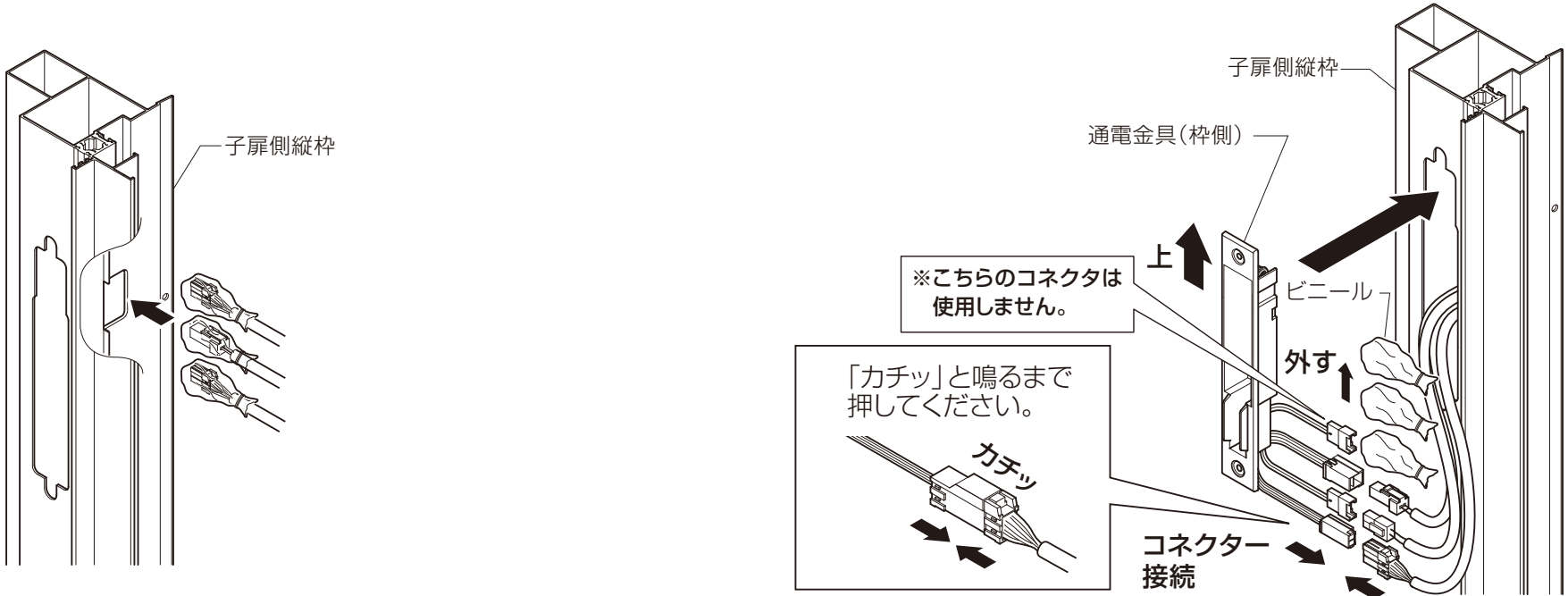
■顔認証システム 自動開閉仕様 電動ドアクローザ（配線内蔵）



●子扉側

- ① 躯体配線コードを子扉側縦枠に通してください。
躯体配線コード：3本

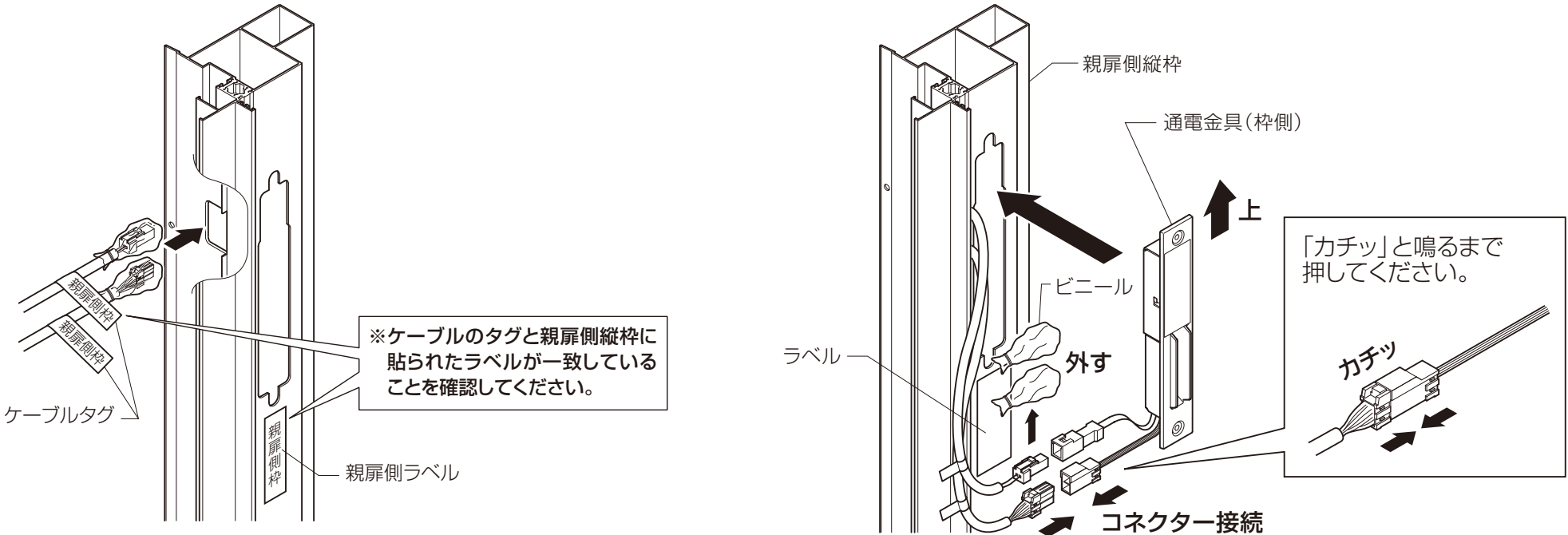
- ②コネクタを通電金具(枠側)に接続します。
※通電金具(枠側)は部品箱に同梱されています。



●親扉側

- ③ 躯体配線コードを親扉側縦枠に通してください。
躯体配線コード：2本

- ④コネクタを通電金具(杵側)に接続します。
※通電金具(杵側)は部品箱に同梱されています。

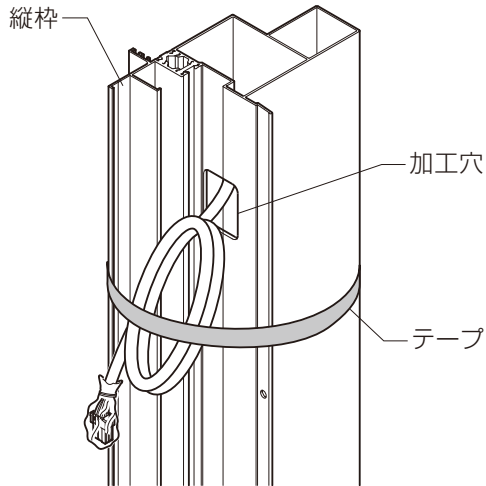
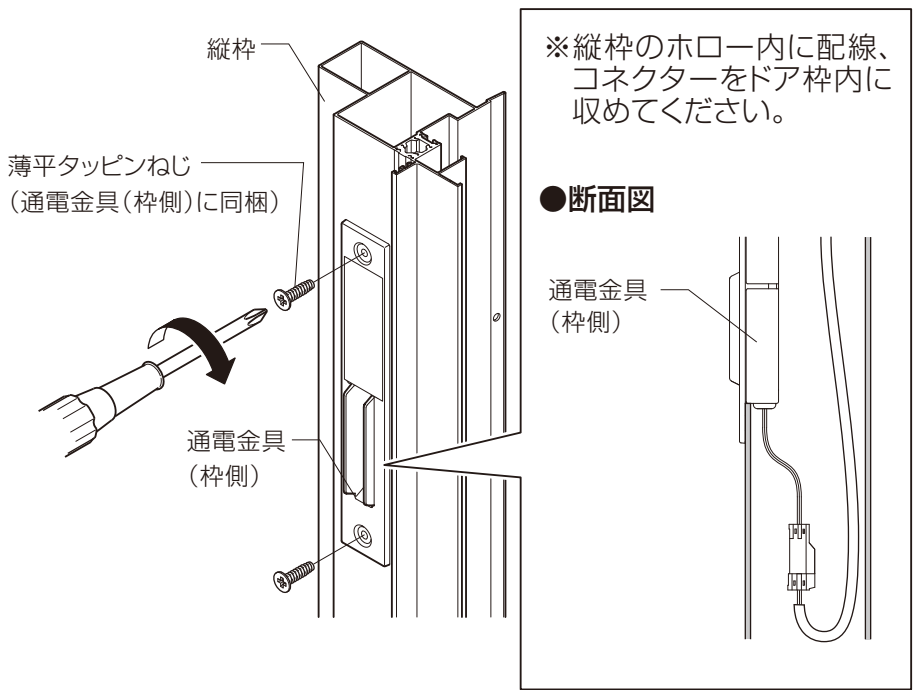


3 通電金具（枠側）の取付け 共通

電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながるおそれがあります。

①通電金具（枠側）を枠に取付けてください。

②躯体側の配線をテープなどでまとめます。



お願い

※ドア枠内の配線コードにはテンションがかからないようにしてください。接触不良により不具合の原因やメンテナンス時に部品の交換ができなくなります。通電金具（枠側）のシールはコネクター接続時まで剥がさないでください。電動ドアクローザオプションの場合、電動ドアクローザ同梱の躯体内配線を取付ける必要があります。枠の躯体内配線と合わせて施工してください。

4 配線後の処理についてのお願い 共通

■配線後の処理についてのお願い

●配線を通した後、加工穴はテープ等でふさいでください。

お願い

※施工時に、穴をふさいだテープをはがさないでください。

配線穴
ふさぎ方法動画



5 ねじの使い分けについて 共通

■①・㊦ねじの使い分け

下枠：①のねじ 2 本 ㊦のねじ 1 本

幅木：①のねじ 3 本

①ねじ…ホロー形材部分に使用します。

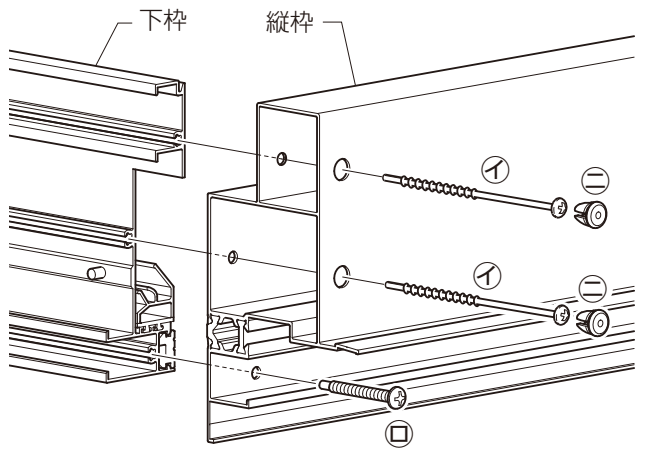
㊦ねじ…上枠・下枠の室内側に使用します。

㊧プッシュボタン…ホロー形材の穴ふさぎとして使用します。

⚠ 注意

●漏水防止のため下記事項をお守りください。

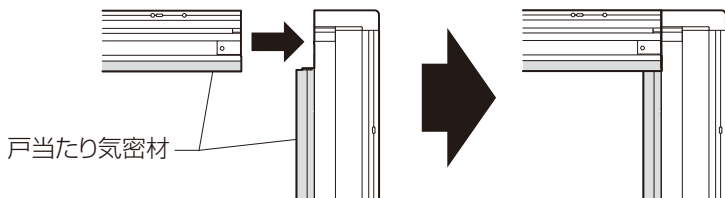
- ・組立て時に、コーキングシーラーが形材の周りにはみ出すように合わせてください。
- ・組立てねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



6 戸当たり気密材のコーナー部納まりについて 共通

●組立ての際、コーナー部の戸当たり気密材が正しく納まっているか確認してください。

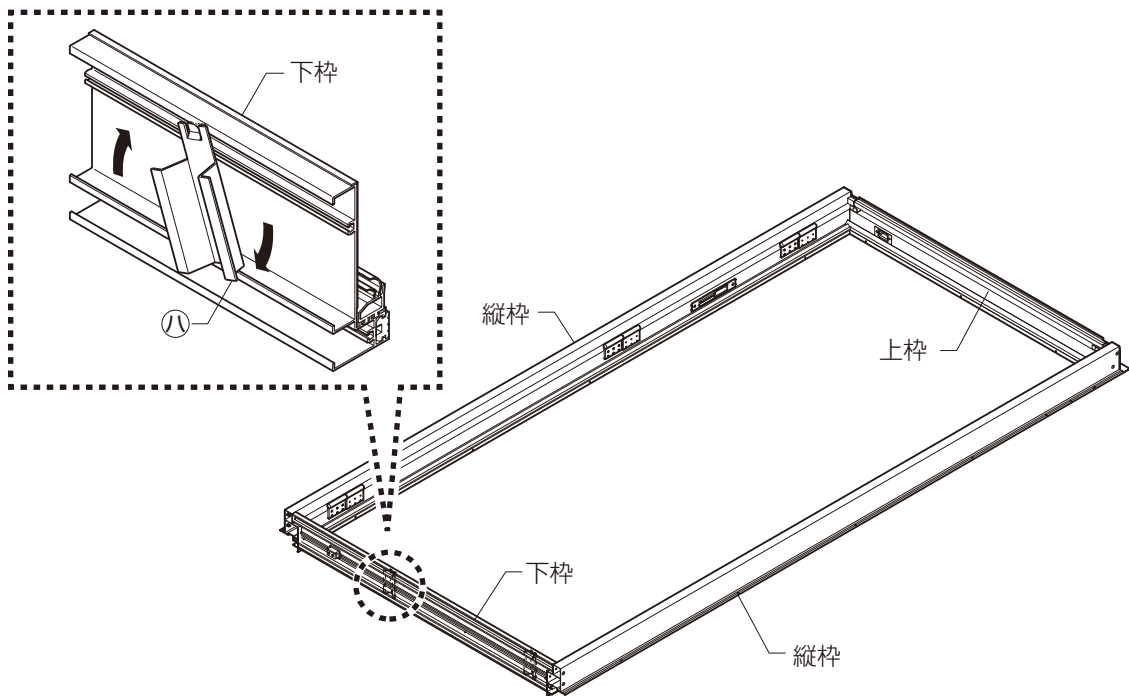
【戸当たり気密材（外観図）】



7 部品の取付け 共通

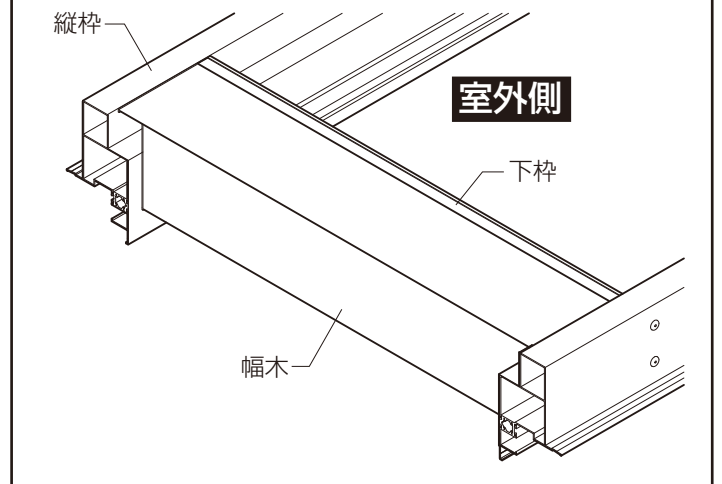
■幅木・アンカーの取付け

下図を参考に、下枠アンカーを取付けてください。



■幅木を取付ける場合

●幅木は別売りを使用します。幅木の取付けは、幅木セットに同梱の取付け説明書を参照してください。



■丁番の取付け

⚠ 注 意

●丁番取付けねじ、および丁番裏板取付けねじは増締めをして締付けてください。(締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }) 扉脱落のおそれがあります。

丁番には(上/中)・下の区別があります。右図の丁番のように、軸受け穴にU字の切欠きがある丁番は上、切欠きがない丁番は下になるよう取付けます。

(取付けねじは丁番セットに同梱されています。皿小ねじM4×18)

